



創立50周年実行委員会
実行委員長
小山 剛司

特集① 創立50周年実行委員会

① 実行委員長・両部会長が語る創立50周年にかける想い



渉外・式典部会長

河野 大輔

懇親部会長

沖野 博志

特集② 会員拡大推進室

② ～それぞれの世代が感じる、大竹青年会議所の魅力～

明るい豊かな社会の実現のために。

一般社団法人大竹青年会議所は創立50周年を迎えます。

6月9日土曜日に創立50周年記念式典が行われます。

創立50周年記念事業については裏面に記載してあります。

一般社団法人大竹青年会議所HP

<http://www.otakejc.com/2018/>

大竹青年会議所



創立50周年にかける想い

1968年6月に創立されました一般社団法人大竹青年会議所は本年度、創立50周年を迎えることとなりました。これもひとえに当青年会議所を創立された34名の有志の先輩方をはじめとするこれまでの多くの先輩諸兄の熱き情熱と功績、そして行政や関係諸団体の多大なるご理解とご協力の賜物と感謝申し上げます。私自身、2011年に入会し、早7年が経過しました。これまで紆余曲折ありながら、自分なりに自分を磨く為、会の発展の為、明るい豊かな社会の実現の為に邁進してまいりました。

そして今年度、実行委員長という役職を頂き創立50周年事業に取り組むにあたり、時代は変われど先輩方より代々変わらず脈々と受け継がれてきた「まち」や「ひと」に対する情熱と、積み上げてこられた功績・歴史の尊さを振り返り、改めて敬意を表すと共に、現役会員である我々が次の時代に向けてバトンを確かに託し、さらなる歴史を積み上げることが出来るように創立50周年事業に取り組んでいく必要があると感じております。



実行委員長

敢為邁往

小山 剛司

本年度、創立50周年実行委員会の基本理念を「敢為邁往^{かんまいおう}」～今をときめく青年らしく、未来に向かって一丸となり突き進め～と掲げ、15名という少ない会員数でこの大きな担いに対し向き合っております。その中で、会員ひとりひとりにかかってくる責任と負担は大きくなっています。しかし、副実行委員長、各分会長をはじめ、全会員がその理念を共有して自分たちの決断に自信をまとい、道を切り拓きながら活動して頂いており、今この時を、このメンバーで活動出来ることをとても幸せに感じております。

いよいよ6月9日の記念大会を皮切りに、通年を通して行われる周年事業がスタートするにあたり、不安などありますが、前述の通り、少数精鋭が一丸となって取り組むことで、その不安を自信に変えてこれまで大竹青年会議所を支えてくださった多くの方々に感謝を伝えると共に、大竹青年会議所の存在意義と可能性を広く伝播していける様、敢為邁往してまいります。

渉外・式典部会は、受けた恩に対して感謝の気持ちを持つという、【報恩謝徳】のスローガンの下、今日まで大竹青年会議所の歴史を積み上げ、支え続けて頂いた諸先輩方を始め、関係者の皆様へ感謝と敬意を表すると共に、その当時の志、活動、想いを懐かしんで頂けるように、先輩方のご協力も仰ぎながら、必要な情報を集め、資料を作成し、打合せと会議を繰り返し、設営・運営を行っていく所存です。

我々現役会員は、50年という半世紀に渡る長い時間、会を紡いでこられた皆様の功績を称え、しっかりと後世へバトンを渡すためにも、会員一丸となって記念式典を滞りなく肅々と、且つ確実に実行するように努めて参りますので、何卒宜しくお願い申し上げます。



渉外・式典部会長

報恩謝徳

河野 大輔



懇親部会長

躍動

沖野 博志

創立50周年を迎えるにあたり、まちづくり・ひとづくりへ多大なる貢献とご努力をされました数多くの先輩諸兄の皆様より受け継がれ、50年という大きな節目を迎えることが出来ましたことを感謝申し上げます。この歴史と伝統を継承するべく大竹青年会議所会員としての自覚と誇りを持ち活動を展開して参ります。懇親会においては、今をときめく若者らしく、活気あるものにするべく『躍動』のテーマのもと会員一丸となって活動することで、これからの次代の担い手として期待感と安心感を持って頂きたいと考えております。会員一同皆様のご期待にそえるよう邁進してまいりますので、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

会員拡大推進室

～それぞれの世代が感じる、大竹青年会議所の魅力～

会員拡大推進室室長としての想い

会員拡大は、青年会議所が何より優先すべき事業だと考えます。私たち大竹青年会議所会員にとって、地域で活躍する同世代の青年は掛けがえない存在です。

大竹青年会議所は、地域のまちづくりとひとづくりを行う団体です。会員の会費により運営されています。大竹青年会議所会員が知恵を出し合い、社会問題に取り組む活動や会員が素晴らしい青年経済人としてリーダーシップを発揮するためのトレーニングを行っています。

青年会議所の良さとして、まちづくりひとづくりに主眼がおかれた事業計画書の作りかたを学び習得する機会や、実際に事業を展開する機会等をあげることができます。社会貢献を行う活動のなかで、多くの人と出会い人脈を創ることができ、自分の視野を広げることのできる成長が、必ず実感できます。青年会議所活動は、時代に沿った活動を行っていくためにも、いつの時代もこれからの社会を構築していく若き青年世代の人材を必要とします。青年会議所には40歳までの年齢制限があり、入会資格に該当する品格ある青年であれば誰でも青年会議所会員になることができます。40歳を持って卒業し、現在活躍する企業人や政界人を多く輩出しています。大竹市においても例外ではなく、卒業された先輩方が今も大竹市内外で活躍をされています。地域のことを考え活動できる人は、地域で暮らす人が考え行ふべきです。私が会員拡大活動をこれまで行うなかで思うことについて、何も大竹青年会議所の活動を知らない会員以外の人からすれば、受ける印象は、突然の勧誘や、理解しがたいものだと思います。

大竹青年会議所は、地域のまちづくりとひとづくりを行っている素晴らしい団体だからこそ、自信を持ってすすめることができます。私たち大竹青年会議所のメンバーが、もしあなたの前に入会してくださいと現れたなら、一緒に大竹を明るい豊かなまちにするために活動しましょうというお誘いです。入会して頂くことが目的ではなく、これからの社会を創り上げていく仲間になって頂くことが目的です。あなたのもとへ同世代の仲間が、大竹市の地域をよくするための力を借りに来たと思って頂きたく思います。青年会議所会員には、定められた共通のミッションがあります。より良い変化をもたらす力を青年に与えるために発展・成長の機会を提供することです。青年会議所会員として大切なことは、提供する対象はその他の人のためにあり、提供する側の使命は私達会員1人1人にあることが大切です。大竹青年会議所で共にまちづくりひとづくりについての若者としての夢と理想を計画化し行動してみる機会に取組んでみませんか？その過程で必ず自らが成長できることを約束します。



会員拡大推進室
室長

藤野 広志

入会3年未満の方に聞きました！

大竹青年会議所の魅力って何ですか？

岩崎 静穂 アトリEmerci~ 入会2年目



年度ごとに新しい役職を与えられ、そこに自分の仕事と居場所が必ずあるところに魅力を感じます。チームごとの役割を果たしながら、責任感・協調性を学び、困ったときに支え合う仲間への感謝や大切さを感じられます。

河内 信治 三興化学工業株式会社 入会2年目

青年会議所の魅力は、大人になってから自己研鑽できる場を与えてもらえることで、通常では経験できない非日常的なことが体験でき、自分の苦手なことにも挑戦し経験できることで自分の成長を感じることができることだと思います。



中野 友博 有限会社 中野自動車 入会3年目



同年代の方々の様々な考え方や想いを知ることができ、自分も負けないぞという気持ちにさせて頂けることです。また様々な事業を通して、異なる世代の方々と交流することにより、人との出会いやこの街の魅力を発見できることがこの会の魅力だと思います。

活動報告～例会を終えた担当者の想い～

新年例会 専務理事セクレタリ 中野 友博

新年例会は本年度の理事長所信や、各委員長の想いや活動方針を発信し、その年の船出となる例会です。また先輩方と交流させて頂く数少ない機会となっております。今回始めて例会を担当させて頂きましたが、企画を考える段階で、自身の考えや想いを伝えることの難しさ、周りの方に様々なご意見を頂き、より良いものへとブラッシュアップされる面白さなど、青年会議所の魅力でもある様々な考えを学ぶことが出来る機会となりました。例会当日不安な面も多々ありましたが、参加して頂いた先輩方から、激励のお言葉や、肯定的なご意見を多数頂けたことが何よりうれしかったです。これからもこの経験を活かし、さらなる成長を遂げたいです。



2月例会 会員拡大推進室 室長 藤野 広志

会員拡大活動の推進を行う室長として、会員の皆様には日々は難しいとしても、週に何時間かをこの活動のためとして、貴重な時間を使って頂いていることと思いの上がらぬ思いでいます。1人1人が当事者意識を持ち拡大に取り組んでいただくことが拡大推進室としての役割であると思っています。この度講演を終え講師とお話をするなかで、講演を聴くことで瞬間的にその気持ちになったところで継続していかなければ意味をなさないという言葉が大切にしたいと思います。総意として拡大活動はまちのためと思い会員の皆様には引き続きの活動の協力をお願い致したく、2月例会を終えての活動報告とさせていただきます。

3月例会 会員資質向上委員会 委員長 高橋 央史

本年度会員資質向上委員会では、理想のリーダーを、時代を見据えて的確な発想、行動ができる人と定義しました。そのためには、「志」「現状把握」「実行力」の3要素が必要であると考えています。

そこでこの度、道を切り開き、時代を切り開くための原動力であり、全ての思想・行動の原点となる「志」をたてることの重要性を学ぶための例会を開催致しました。志といっても、考え方はひとそれぞれです。司会進行をするにあたって、自分の考えを押し付けないように、一人歩きをしないように資料を準備してまいりましたが、会員の皆様には熱心にメモを取られる方や、「面白い例会だった」といってくださる方もおり、嬉しく思います。大変貴重な経験となりました。



4月ブロック会長公式訪問例会 専務理事セクレタリ 岩崎 静穂

4月例会は『女性が積極的に社会に関わっていくことでどのような変化が起こるのか』をテーマに行いました。

女性を1つの労働力として考えるのではなく、男女が共に活躍することで起こる様々な変化の重要性を理解すること、そして女性の持つ可能性に目を向け、期待し、協力し、機会を与えることのできる人材になるために学ぶことは我々の行う青年会議所活動の場においても大きな可能性を含んでおります。これからまちの環境をどのように整えるべきか、どうするかだけでなく、どうあるべきかを改めて考えることに繋がる例会となりました。



一般社団法人大竹青年会議所 創立50周年記念事業

吉田沙保里トークショーin大竹

テーマ～親子で叶えた夢への扉～

【日時】2018年8月5日(日) 11:50開場 12:20開演

【場所】大竹会館アゼリアホール 大竹市本町1丁目9-3

【お問合せ】一般社団法人大竹青年会議所事務局

大竹市油見3丁目18-11大竹商工会議所内 ☎0827-52-8006

【後援】大竹市教育委員会